News Release

報道関係各位

2026 年 11 月 4 日
株式会社日本アクア
（東証プライム 1429）

日本アクア、産学連携で学校体育館の断熱化を推進
～「クールスクール・ラボ」を通じ新市場を開拓、初回ウェビナーは 300 名超が視聴～

現場発泡ウレタン断熱材シェア No.1 の株式会社日本アクア（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 文隆）は、学校体育館の暑熱対策と脱炭素化を目的とした産学連携の研究会「クールスクール・ラボ（Cool School Lab）」※に参画し、全国の公立学校体育館における断熱・空調整備の普及を推進しています。

※注　クールスクール・ラボの正式名称は「学校施設の健康増進と脱炭素化に向けた断熱・空調に関する研究会」であり、大学の研究知見と民間企業の技術を結集し、学校施設の環境改善に取り組む組織です。

URL：https://cool-school-lab.github.io/#archive



2026 年 10 月 6 日に開催された第 1 回ウェビナーは 300 名を超える方々にご視聴いただき、学校体育館の環境改善に対する高い関心が寄せられました。

■　学校体育館の断熱・空調整備が急務に

近年の猛暑により、学校体育館では児童・生徒の熱中症対策が急務となっています。また、災害時には地域住民の避難所となることから、安全で快適な温熱環境の確保が求められています。国

は、避難所となる公立小中学校体育館の空調設置率を 2031 年度中に 100%とする目標を掲げており、文部科学省は今後 5 年間の整備に必要な国費を約 5,000 億円強と見込んでいます。

一方、体育館は天井が高く大空間であるため、空調設備の導入だけでなく、屋根や窓の断熱・遮熱による冷房負荷の低減が重要です。

■ 産学連携で「涼しい・早い・安い」体育館整備を提案

クールスクール・ラボは、東京大学・前真之研究室、東京理科大学・高瀬幸造研究室をはじめ、当社、YKK AP 株式会社、株式会社ゼネラル、株式会社エネルギーまちづくり社、株式会社新建新聞社が連携する研究会です。大学による温熱環境の研究・実証、メーカー各社による屋根・窓・空調技術の提供、自治体への導入支援、情報発信を組み合わせ、断熱・遮熱と家庭用エアコンの活用による、快適性・施工性・経済性を両立した体育館整備を目指しています。

当社は、屋根防水・断熱・遮熱を一体施工する「FUKUGEN 工法」を通じ、既存体育館の改修コスト低減と建物の長寿命化に貢献してまいります。

■ 初回ウェビナーは 300 名超が視聴、今後も継続開催

10 月 6 日に開催された第 1 回ウェビナー「すべての体育館に冷房を！」では、学校体育館の断熱・空調整備の必要性や実証成果、具体的な改修手法を紹介し、300 名を超える方々にご視聴いただきました。

当社は今後も研究会メンバーと連携し、自治体や学校施設関係者に向けたウェビナー・情報発信を継続するとともに、全国の学校体育館の環境改善と新たな断熱改修市場の開拓に取り組んでまいります。

以上

【会社概要】

会社名：株式会社日本アクア
上場市場：東京証券取引所　プライム市場（証券コード：1429）
代表者：代表取締役社長　中村 文隆
所在地：東京都港区港南 2 丁目 16-2　太陽生命品川ビル 20 階
設立：2004 年 11 月
事業内容：建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工
　　住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
URL：https://www.n-aqua.jp

【お問い合わせ先】
株式会社日本アクア IR 担当
電話番号：03-5463-1117
E メール：ir-info@n-aqua.com